

**京都市歴史資料館情報提供システム  
「フィールド・ミュージアム京都」の完成について  
～1200年の豊かな歴史情報を発信～**

1200年という長い歴史を誇る京都には、有形・無形の歴史資源が多数存在します。京都市では、まち全体を歴史の博物館（フィールド・ミュージアム）と捉え、市民や全国の観光客、研究者等に京都の歴史情報を広く発信するため、平成13年度から歴史資源の情報提供システムの構築を進めてきました。

市内全域約1000箇所以上の史跡石標・道標の現地調査から、解説や写真のデータ化、データと関連付けた地図の作成、歴史年表の作成等、多くの作業を4年の歳月をかけて積み重ね、この度その集大成となるシステム「フィールド・ミュージアム京都」を完成し、インターネット上で発信することとなりました。

京都の歴史の奥深さ・素晴らしさを再発見するシステムとして、また地域のまちづくりや生涯学習等の参考として、市民や全国の京都ファンにご活用いただけるよう、観光政策等とも連携して発信してまいります。

記

**1 概要 ～京都の歴史を4種類のデータ・延べ2445件の事項と324枚の地図で網羅～  
「フィールド・ミュージアム京都」の構成（別紙）**

**①「京都市史跡地図」……………全324枚**

京都市全域地図から順次階層をたどり、324枚のエリア地図にリンクさせた史跡石標・道標のデータを見ることができる。

**②「人名・寺と神社・事項」一覧……………全1,038件**

「人名」「寺と神社」「事項」の各テーマ別に索引が表示され、それぞれ関連する史跡の情報や解説を見ることができる。

- 人名：歴史上の人物（紫式部、源義経、豊臣秀吉等） 562件
- 寺と神社：現存する寺社又は跡地 384件
- 事項：年中行事や事件等（祇園祭、池田屋事件等） 92件

**③「京都のいしぶみ」データベース…市内の史跡石標・道標998件**

京都市内に点在する史跡石標や道標の写真・解説・設置場所（図面、北緯・東経）などの詳細情報を掲載。

**④「京都の歴史年表」……………年表に349件の出来事を掲載、詳細解説60件**

京都の都市史と文化史を、豊富な写真や画像を交え、詳細な解説ともリンクさせた年表形式で見ることができる。

- （都市のすがた） 年表：169件の出来事 詳細解説：30件
- （文化のながれ） 年表：180件の出来事 詳細解説：30件

このように幅広い歴史情報をインターネット上で総合的に発信するシステムは全国にも例がない。

## 2 特徴 ～多彩な検索メニュー・正確な最新歴史情報を簡単にかつ複合的に～

京都の歴史研究に基づく、詳しく正確な最新の歴史情報が4種類のデータとして体系的に整理され、リンクしている。この4種類のデータからの検索にキーワード検索を加えた5種類の検索メニューをトップページに表示しており、利用者は目的や関心のある項目から、各データ内の関連情報を簡単にかつ複合的に得ることができる。

○検索メニュー

- ①「京都市史跡地図」
- ②「人名・寺と神社・事項」一覧
- ③「京都のいしぶみ」データベース
- ④「京都の歴史年表（都市のすがた）（文化の流れ）」
- ⑤「キーワード検索」

## 3 アクセス方法

歴史資料館のホームページ <http://www.city.kyoto.jp/somu/rekishi/> から情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」にアクセスする。

\* 「京都市情報館」トップページ、「京都市観光文化情報システム」上からもアクセス可能。

## 4 発信日

平成17年4月28日（木）

## 5 作成経費

8,000万円

内訳 平成13年度 1,000万円

市内全域の石標調査の実施

平成14年度 2,000万円

京都の歴史年表「都市のすがた」及び「京都のいしぶみ」データベースの作成

平成15年度 2,000万円

京都の歴史年表「文化のながれ」の作成

平成16年度 3,000万円

システムの構築